

## その他の調査の進捗状況について

- 1．漂流シミュレーション調査計画
- 2．定点観測調査

# 1 漂流シミュレーション調査計画

## 1.1 目的

昨年度開発した伊勢湾の漂流シミュレーションモデルを用いて、夏季における河川からのゴミの漂流経路を把握する。また、ペットボトル以外の漂流経路についても、同モデルを用いて検討する。

## 1.2 調査内容

昨年度と同様、流況シミュレーションにより流れ場を計算した後、漂流シミュレーションを実施する。

### 1.2.1 流況シミュレーション

#### (1) 流況シミュレーションモデルの概要

流況シミュレーションの基礎方程式系は昨年度と同様である。解析領域及び格子分割、流況再現の際に考慮する河川(淡水流入河川)も昨年度と同様とし、図 1に示すとおりである。

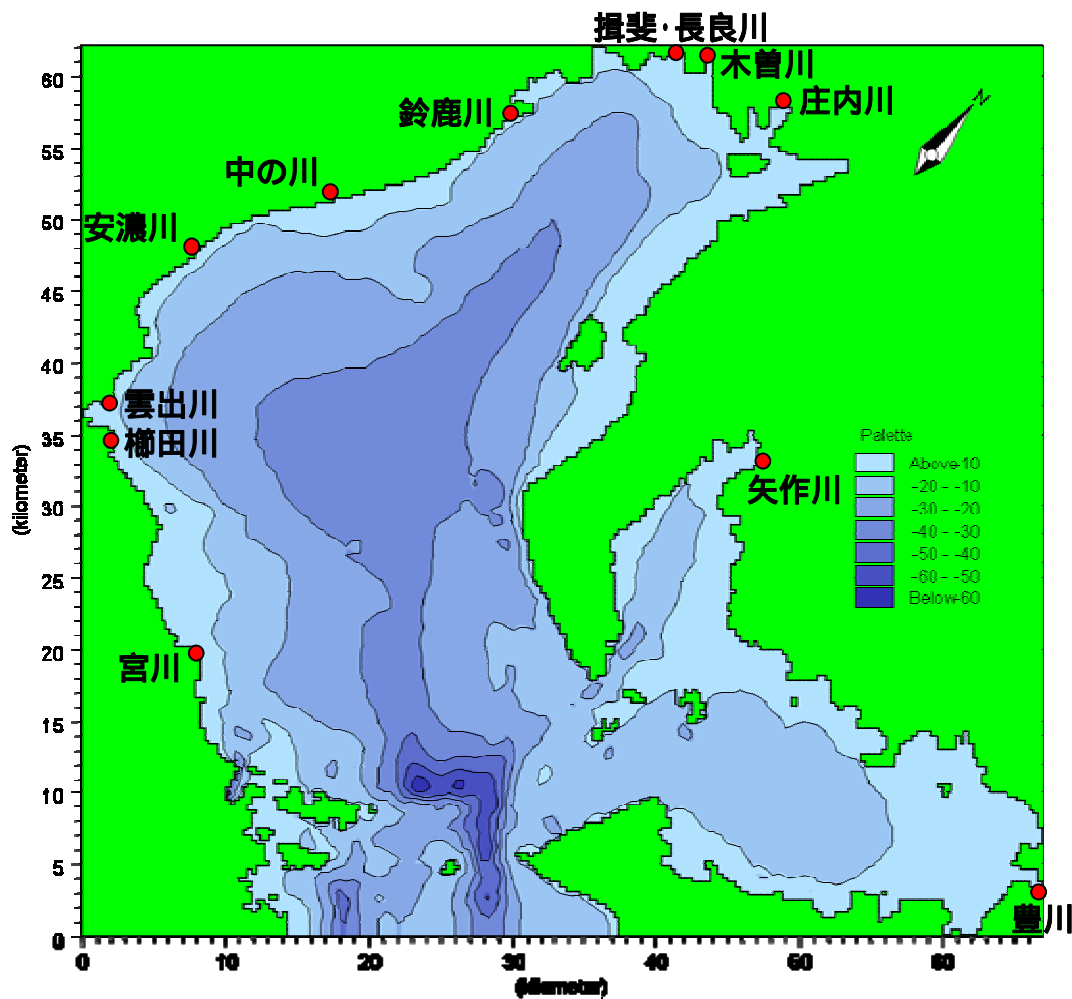


図 1 流況シミュレーションにおける計算領域及び流入河川

## (2)流況シミュレーションの境界条件

開境界での境界条件は、昨年度と同様、潮位の振幅を与える。

海面での境界条件は、昨年度と同様風応力を与える。風向・風速データとして昨年度はGPVデータを使用した。伊勢湾奥の局所的な風の条件が考慮できなかったため、今年度は気象モデル等による計算値で、伊勢湾奥の風を検討する。

## 1.2.2 漂流シミュレーション

### (1)漂流シミュレーションモデルの概要

昨年度と同様、流況シミュレーションにより計算された流れ場に、風圧流を考慮してシミュレーションを実施する。

### (2)対象河川

対象河川は、昨年度と同様に図 2に示す 6 河川とする。



図 2 漂流シミュレーションの対象河川

## 2 定点観測調査

### 2.1 目的

計画されているクリーンアップ調査(2年で6回)及びフォローアップ調査(同6回)では、ゴミの漂着状態の経時的な変化が把握できない可能性がある。そこで、本調査では高頻度の定点撮影・観察を行い、漂着状況を経時的に把握することで、ゴミ漂着のメカニズム解明の一助とすることを目的とする。

### 2.2 調査内容

調査項目は以下のとおりであるが、  
、  
については全モデル地域において調査を実施することとした。

対象モデル地域におけるゴミ漂着の経時的变化の把握

対象モデル地域における出水後のゴミ漂着の経時的变化の把握

デジタルカメラによる定点撮影は、原則として週1回とする。また、出水時撮影は台風などが通過した後、雨風が収まってから連続10日間、本期間内で2回程度を想定している。

### 2.3 調査結果

平成20年3月26日～平成20年5月21日までの定点撮影結果を以下に示す。

- ・撮影場所：奈佐の浜
- ・定期撮影：2007年9月19日～2008年3月20日、週1回。



図3 三重県のデジタルカメラ定点撮影位置(答志島・奈佐の浜)

北東側



3月26日

南西側



3月26日



4月2日



4月2日



4月9日



4月9日



4月16日



4月16日



4月23日(第4回クリーンアップ調査直後)



4月23日(第4回クリーンアップ調査直後)



4月30日



4月30日



5月7日



5月7日



5月14日



5月14日



5月21日



5月21日